

## 第2学年 国語科学習指導案

日 時	令和3年11月11日(木)
生 徒	宮古市立第一中学校 2年1組 26名
指導者	田之岡 悠希
共同研究者	宮古市立宮古西中学校 菅原 瑠里子 宮古市立河南中学校 松井端 望

- 1 単元名 「枕草子」が読者を1000年魅了する理由にせまる  
学習材名 『枕草子』(東京書籍 新しい国語)  
松尾聰 永井和子『日本の古典をよむ8 枕草子』  
黒沢弘光 『枕草子(21世紀によむ日本の古典5)』

### 2 単元の目標

- (1) 現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。〔知識及び技能〕(3)イ  
(2) 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)オ  
(3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。「学びに向かう力、人間性等」

### 3 本単元における言語活動

「枕草子」の複数の章段を重ねて読み、書き手のものの見方や考え方について考えたことを伝え合う。

### 4 単元について

- (1) 生徒について  
(略)

#### (2) 教材について

『枕草子』は、清少納言独自の観察眼と鮮やかな文章表現が特徴的な随筆である。教科書掲載の「春はあけぼの」と「九月ばかり」は「随筆的章段」と呼ばれ、日常のふとした瞬間を鋭く切り取り、美しく明快に、時には痛快に描写する点が特徴である。筆者自身によって独自の見方や考え方であるように記されるが、鋭い人間観察や繊細な美意識には、共感したり納得したりすることができるものも多い。

「春はあけぼの」の印象が強く、「枕草子」を四季や自然というテーマの作品であると考えている生徒も多い。本単元では、人間への鋭い観察眼がみられるものを中心に、類聚的章段から9つ、随想的章段から4つ、日記的章段から1つを学習と並行して読み生徒が見出す作品の特徴の広がりや深まりをねらう。複数の章段を読むことで、清少納言独自のものの見方や考え方の新たな発見や確かな実感につなげたい。

また、本教材は古典作品の中では比較的内容が平易で、表現が柔らかく古典作品になじみのない生徒にも

受け入れられやすいものであるといえる。「春はあけぼの」については小学校でも既習の内容であり、音読したり自らの季節の見方を作品と重ねて「自分流枕草子」を創作したりして、作品に親しむ学習活動が行われている。中学校段階では、その学びを踏まえ、『枕草子』を優れた随筆作品として、「読むこと」の学習で身に着けた資質・能力を生かしながら読みを深めることを目指したい。『枕草子』の学習後は、『徒然草』『平家物語』『漢詩』を学習する。『徒然草』では古語や係り結びなどに着目し、筆者の意図を探ることで作品世界に親しみ、『平家物語』では、登場人物の心情に着目して朗読するなど、それぞれの作品の特徴を生かした言語活動を仕組み、それらの学習のまとめを通して、学習者が古典に親しむことを実現したい。

### (3) 指導と評価について

本單元における言語活動は、「枕草子」の複数の章段を重ねて読み、書き手のものの見方や考え方について考えたことを伝え合うことである。

随筆作品には、書き手独自のものの見方や考え方が表れており、それらが読者を惹きつける面白さにつながっている。自らの経験やものの見方と「重ねる」こと、複数の章段を「重ねる」こと、他者と考えを伝え合い、他者の考えと自らの考えを「重ねる」ことで、生徒が学習過程の中で作品についての考えを広げたり深めたりすることができるようにしたい。

指導上の工夫点は以下の通りである。

- ・複数の章段を重ねて読むことで、重層的な作品の特徴に気づくことができるようにする。家庭学習で複数の章段を読み、簡単に気づきや感想をまとめる活動を授業と並行して行うことで、授業での考えの形成の助けとなると考えた。学習後に、古典作品を読書の対象に入れていくことにつなげたいというねらいもある。
- ・重ねて読む章段を生徒自身に選ばせることで、自ら読み進め、「読者を 1000 年魅了する理由」という単元を通した大きな問いに主体的に臨む意欲を高めたいと考える。異なる章段を扱うよさを生かし、生徒が多様な考えを発見できるようにしたい。
- ・学習の見通しの場面や考えを共有する場面、音読を練習する場面で ICT の活用を行う。学習の見通しをもつ場面では『100分で名著 枕草子』の映像を視聴し、作品や作者について知り、「現代でも読者を魅了する作品である」ということを確認する。古典作品の表現を味わうには声に出して読むことが欠かせないが、本單元では随筆作品として内容を読むことに重きを置いたため、音読や暗唱は短時間で行う。音読、暗唱は家庭学習で個人練習を行い、授業では音読や朗読の様子を撮影してロイロノートで提出させ、別の時間で教師が確認することにする。共有する場面では、学習プリントの記述をカメラで撮影し、発表時に生徒同士で参照できるようにする。

本單元では、重点とする資質・能力が発揮される時間を単元の終末に置き、単元の開始段階から示した大きな問いの解決及び資質・能力の獲得に向けた学習活動を展開する。

第4時では、第5時の言語活動を行うために、生徒が「粘り強く」「学習課題に沿って」作品の特徴を考え、伝え合おうとしているかを確認する。第5時の〔思考・判断・表現〕の評価のために、前時からの考えの広がりや深まりを可視化できるワークシートの工夫を行う。また、単元1時間目では、作品が読者を魅了してきた理由を簡単に予想し、生徒が単元終末の考えと当初の予想を比較して、自分の考えの広がりや深まりを実感できるようにする。

## 5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を理解している。((3)イ)	①「読むこと」において文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。(C(1)オ)	①粘り強く筆者のものの見方について考え、学習課題に沿って、考えを伝え合おうとしている。

6 指導と評価の計画（全5時間）

時	学習活動		指導上の留意点	評価基準・評価方法等
1	<p>○学習のねらいや進め方をつかみ、学習の見通しをもつ。</p> <p>○「枕草子」について文章のジャンルや筆者について映像資料を視聴するなどして概要を確認する。</p> <p>○「枕草子」にはどんな章段があるのかを知る。</p> <p>○第一段、章段のタイトルを読み、枕草子にはどんな魅力がありそうか考える。</p>	<p>○家庭学習</p> <p>①「並行読書」 枕草子から 「にくきもの」「心ときめきするもの」「ふと心おとりするもの」「野分のまたの日こそ」「心にくきもの」「はしたなきもの」「うつくしきもの」「人ばへするもの」「人の上言ふを腹立つ人こそ」「うれしきもの」「雪のいと高う降りたるを」</p>	<p>・単元を通じて学習を記録するワークシートを配布し、学習過程やつきたい力について生徒と共有する。</p> <p>・100分で名著「枕草子」を活用し、作品と作者について理解できるようにする。</p> <p>・『21世紀に読む日本の古典 枕草子』の目次をグループごとに色分けし、どんな章段があるか気づかせる。（ロイロノート）</p> <p>・単元の振り返りシートに第1時の時点の「作品の特徴」についての予想を記入させ、単元の振り返りの際に生かす。</p>	
2  3	<p>○「枕草子」の第一段、「九月ばかり」を読み、現代語訳と合わせて内容をつかむ。</p> <p>○筆者のものの見方や考え方についてワークシートにまとめる。</p> <p>○第一段を読んで見つけた作者のものの見方や考え方を使って「令和版 枕草子」を書く活動を行う。</p> <p>○練習した音読、朗読を授業で録画し、提出する。（ロイロノート）</p>	<p>を読み、印象的だった章段を選ぶ。印象的な表現や自分が感じたことをノートに書く。</p> <p>②音読、朗読を授業での録音に向けて練習する。</p> <p>③自分が紹介する章段のものを決める。</p>	<p>・「春はあけぼの」と「九月ばかり」の共通点や相違点を見つけながら、筆者のものの見方や考え方について捉えられるようにする。</p> <p>・「令和版 枕草子」では、発見した筆者のものの見方や考え方（作品の特徴）を選んで、自分の書くことに取り入れる活動を行う。生徒が作者のものの見方や考え方の秀逸さと現代に通じる魅力に気づくことをねらう。</p> <p>・音読、朗読の練習と評価の時間の短縮を図るため、ロイロノートのビデオで音読の様子を撮影、提出し、評価に生かす。</p>	<p>〔知識・技能〕① <u>ワークシート</u></p> <p>・ここでは、現代語訳や語注などを手掛かりに、筆者のものの見方や考え方を正確にとらえているかを確認する。</p>
4	<p>○自分が選んだ章段における清少納言のものの見方や考え方が表れているところを見つけ、プリントにまとめる。</p> <p>○教科書で読んだ章段にあらわれたものの見方、考え方と自分が選んだ章段のものの見方、考え方を合わせて、作品の特徴をプリントにまとめる。</p> <p>○同じ章段を選んだグループで作品の特徴について共有する。</p>		<p>・グループ交流では、作品の特徴を簡単に紹介し合う。作品の特徴を見出すことに難しさを感じる生徒がヒントを得られるようにする。</p> <p>・第4時から第5時にかけての考えの広がりや深まりを可視化できるワークシートを使用する。</p>	<p>〔主体的に学習に取り組む態度〕① <u>観察・ワークシート</u></p> <p>ここでは、筆者のものの見方や考え方を見つけ、作品の特徴についての自分の考えをプリントに記入したり、その内容について紹介し合ったりして、自分の考えを広げようとしているかを確認する。</p>
5	<p>○複数の章段を選んだ生徒が集まるようにグループを編成し、作品の特徴について交流する。</p> <p>○全体交流で作品の特徴を共有する。</p> <p>○グループでの交流と全体交流を生かし、自分が考える「枕草子が1000年読者を魅了した理由」をまとめる。</p>		<p>・グループ交流、全体交流ではロイロノートを活用し、まとめたプリントを見ながら交流できるようにする。</p> <p>・複数の作品に触れることで考えが広がったグループの考えが全体交流で発表されるよう教師が発言をコーディネートする。</p>	<p>〔思考・判断・表現〕① <u>ワークシート</u></p> <p>・ここでは、グループでの交流や全体交流を生かして、作品の魅力についての考えが広がったり深まったりしているかを確認する。</p>

7 本時の指導 ( 5 / 5 )

(1) 目標

「枕草子」の作品の特徴について伝え合い、作品に対する自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

(2) 評価規準

<b>B (おおむね満足できる) と判断できる状況</b>	<b>C (支援を要する) 状況への手立て</b>
作品の特徴について、他の章段について考えた他者の考えを取り入れたり、踏まえたりして、自分の考えをまとめることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ交流と全体交流を踏まえることで、自分の考えを形成するヒントを見つけられるようにする。</li> <li>・単元を通して共有した他者の考えをロイロノートに残し、自分の考えを書く際に参照できるようにする。</li> </ul>

(3) 展開

段階	学習活動	指導と評価の留意点
導入 4分	1. 前時の振り返りを取り上げ、前時までの学習を振り返る。 2. 学習活動の流れの見通しを持ち、学習課題を確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">             学習課題 複数の章段を「重ねて」読み、「枕草子」の作品の特徴をまとめる。           </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の特徴を前時より幅広く、端的に見出し、単元を通じた問いの答えを出すことについて見通しをもたせる。</li> <li>・学習活動の流れも示す。</li> </ul>
展開 4分 2分	3. 異なる章段を選んだ人とのグループ交流を行う。(4人グループ) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             ラウンド① 複数の章段の特徴に触れる。             <ul style="list-style-type: none"> <li>・特徴に傍線を書き入れた章段の本文 pdf データをグループの生徒に送信する。</li> <li>・複数の章段を選んだ仲間と交流し、「作品の特徴 (筆者のものの方、捉え方、着眼点、価値観)」について新しい考えを取り入れて考えを広げる。複数の章段の特徴を重ねて考えを広げる。深める。</li> </ul>             ラウンド② 「枕草子」全体の作品の特徴をまとめる。(最低2つ最大6つ)             <ul style="list-style-type: none"> <li>・記録者はグループ記録用のピンクの特徴円に記録をする。</li> <li>・「自分の章段」「仲間の章段」「春はあけぼの」「九月ばかり」の特徴を合わせて似ていて一つにまとめられそうなものを「まとめる」これぞ枕草子の特徴であるという特徴を「選ぶ」。</li> </ul> </div> 4. グループでの交流を全体で交流する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             〈予想される生徒の反応〉             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分独自の考えを大切にしていることと同時に、多くの読者に共感してほしいという思いが表れている。読者が共感できる。</li> <li>・自然、事物、人間などジャンルを限定せずに興味をもって観察していて、題材の幅が広い。</li> <li>・多くの方が良いと思うものを認め、よさをさらに見出す一般的な感覚ももっている。読者が言葉にしたいけれどできないことを痛快に言い切ってくれる。</li> <li>・読者が気づかない小さいもの、はかないもの、移り行くものに「美」や「価値」を見出す。</li> <li>・人間のことで、自然のことで、筆者の五感を生かした鋭い感性が光る。</li> </ul> </div> 5. グループでの交流を踏まえ、「枕草子が読者を 1000 年魅了した理由」となる作品の特徴について、自分の考えをプリントにまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じグループの人にプリント、章段の本文の pdf データを送信して交流する。</li> <li>・「春はあけぼの」「九月ばかり」では捉えられない特徴に触れているもの、作品の特徴を幅広くとらえ、端的にまとめられているものを取り上げる。</li> </ul> <p>〔思考・判断・表現〕①  <u>ワークシート</u>            ここでは、グループでの交流や全体交流を生かして、作品の魅力についての考えが広がり深まったりしているかをプリントの記述で確認する。</p>
終末 4分	○自分の考えの広がりや深まりについて本時の学習を振り返る。	